



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
 コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷井 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山本 忠幸
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3233-1301

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 5,167 | 4.5 | 191 | 3.2 | 121 | 33.4 | 80 | 43.5 |
| 2020年3月期第1四半期 | 4,946 | 20.1 | 197 | 59.5 | 182 | 49.0 | 142 | 44.3 |

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 80百万円 (43.8%) 2020年3月期第1四半期 142百万円 (43.4%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 4.82 | |
| 2020年3月期第1四半期 | 8.53 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 12,046 | 1,493 | 12.3 |
| 2020年3月期 | 11,814 | 1,580 | 13.3 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,482百万円 2020年3月期 1,568百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | | 7.00 | | 10.00 | 17.00 |
| 2021年3月期 | | | | | |
| 2021年3月期(予想) | | 7.00 | | 10.00 | 17.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 21,500 | 1.0 | 800 | 20.2 | 700 | 27.5 | 480 | | 28.75 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2021年3月期1Q | 16,693,200 株 | 2020年3月期 | 16,693,200 株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----|----------|-----|
| 2021年3月期1Q | 5 株 | 2020年3月期 | 5 株 |
|------------|-----|----------|-----|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2021年3月期1Q | 16,693,195 株 | 2020年3月期1Q | 16,693,195 株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、底堅い企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな景気回復基調が見られたものの、中国・欧州などの景気の減速基調、米中貿易摩擦、原油価格の変動などに加え前年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症拡大により、海外政治・経済情勢は不確実性を更に高めており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が急拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けV o I Pサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP & Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である(株)F I Sソリューションズにおいては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」・「Am a V o」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「どこでもホン」、並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、合わせて情報通信機器等を提供しております。

また当社では登録小売電気事業者として法人顧客に電力サービス「Elenova」を提供しており、新たに「ユーティリティ・ビジネス」と位置付けております。

当社連結子会社である(株)トライ・エックス及びタクトシステム(株)においては、法人顧客からのニーズが強い「ドキュメントソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である(株)保険ステーションにおいては、主に法人顧客に対し「コンサルティング」を提供しております。

なお、新型コロナウイルスの感染症拡大による事業への影響は、緊急事態宣言の発令による経済活動の制限等により、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」において情報通信機器の入荷の減少、「ドキュメントソリューション・ビジネス」において各種セミナーやイベントの中止による印刷物の減少、「コンサルティング・ビジネス」においてはショッピングモール併設の保険店舗閉鎖等が発生いたしました。再び緊急事態宣言の発令等による経済活動の制限が生じた場合に、当社グループの業績に影響を与えるおそれがあります。

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が51億67百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益が1億91百万円（前年同四半期比3.2%減）、経常利益が1億21百万円（前年同四半期比33.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が80百万円（前年同四半期比43.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「2 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション・ビジネス》

「IP & Mobileソリューション・ビジネス」におきましては、V o I Pサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。インターネット接続サービスの大口卸販売先の破産手続き開始決定に伴い契約数が減少したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は34億29百万円（前年同四半期比10.8%減）、セグメント利益は94百万円（前年同四半期比35.4%減）となりました。

《ユーティリティ・ビジネス》

「ユーティリティ・ビジネス」は、電力を提供しております。新規獲得件数が順調に伸びたこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は6億82百万円（前年同四半期比999.3%増）、セグメント利益は57百万円（前年同四半期はセグメント損失10百万円）となりました。

《ドキュメントソリューション・ビジネス》

「ドキュメントソリューション・ビジネス」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。新型コロナウイルス感染症の影響で、各種セミナー・イベント印刷物作成の中止等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は3億37百万円（前年同四半期比7.5%減）、セグメント損失は6百万円（前年同四半期はセグメント損失8百万円）となりました。

《コンサルティング・ビジネス》

「コンサルティング・ビジネス」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。一部大口案件等により、売上高は増収となったものの営業費用の増加等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は7億17百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益は45百万円（前年同四半期比34.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は120億46百万円となり、前連結会計年度末比2億31百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加(3億35百万円)、受取手形及び売掛金の減少(2億72百万円)及び未収入金の増加(2億14百万円)によるものであります。

負債の残高は105億52百万円となり、前連結会計年度末比3億18百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増加(4億86百万円)及び未払金の減少(1億80百万円)によるものであります。

非支配株主持分の残高は11百万円となりました。また、純資産の残高は14億93百万円となり、前連結会計年度末比86百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により業績予想の適切かつ合理的な見積りが困難であることから未定としておりましたが、国内の緊急事態宣言や海外各国におけるロックダウン・外出制限等の解除、緩和により経済活動が段階的に再開へと向かっている状況を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、連結業績予想を公表することといたしました。

今後の見通しにつきましては、コロナ禍の先行きは依然不透明な状況が続いておりますが、年度末に向けて段階的に収束し、第2波などによる大きな変化が生じないことを前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,030,538 | 1,366,276 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,443,122 | 3,170,185 |
| 商品及び製品 | 98,888 | 162,691 |
| 仕掛品 | 34,123 | 25,573 |
| 原材料及び貯蔵品 | 100,886 | 152,898 |
| 未収入金 | 2,203,382 | 2,417,567 |
| 前払費用 | 1,132,635 | 1,115,004 |
| その他 | 59,547 | 83,449 |
| 貸倒引当金 | △149,889 | △196,588 |
| 流動資産合計 | 7,953,236 | 8,297,057 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 115,671 | 107,967 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 445,232 | 430,001 |
| その他 | 396,295 | 399,464 |
| 無形固定資産合計 | 841,528 | 829,466 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期前払費用 | 1,448,311 | 1,347,675 |
| 破産更生債権等 | 2,768,520 | 2,848,997 |
| その他 | 1,276,691 | 1,285,175 |
| 貸倒引当金 | △2,589,026 | △2,670,149 |
| 投資その他の資産合計 | 2,904,496 | 2,811,700 |
| 固定資産合計 | 3,861,695 | 3,749,133 |
| 資産合計 | 11,814,931 | 12,046,191 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,395,915 | 2,347,231 |
| 短期借入金 | 3,956,000 | 4,442,000 |
| 未払金 | 2,602,193 | 2,422,138 |
| 未払法人税等 | 277,728 | 321,273 |
| 賞与引当金 | 176,868 | 69,569 |
| 役員賞与引当金 | 8,000 | 15,999 |
| その他 | 496,047 | 631,494 |
| 流動負債合計 | 9,912,753 | 10,249,707 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 90,000 | 75,000 |
| 退職給付に係る負債 | 228,769 | 224,864 |
| その他 | 2,700 | 2,700 |
| 固定負債合計 | 321,469 | 302,564 |
| 負債合計 | 10,234,222 | 10,552,271 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 542,354 | 542,354 |
| 資本剰余金 | 42,353 | 42,353 |
| 利益剰余金 | 984,076 | 897,636 |
| 自己株式 | △1 | △1 |
| 株主資本合計 | 1,568,782 | 1,482,342 |
| 非支配株主持分 | 11,926 | 11,577 |
| 純資産合計 | 1,580,708 | 1,493,919 |
| 負債純資産合計 | 11,814,931 | 12,046,191 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 4,946,028 | 5,167,768 |
| 売上原価 | 3,344,857 | 3,702,244 |
| 売上総利益 | 1,601,171 | 1,465,523 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,403,723 | 1,274,360 |
| 営業利益 | 197,447 | 191,163 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 231 | 1 |
| 違約金収入 | 497 | 27,960 |
| その他 | 734 | 2,039 |
| 営業外収益合計 | 1,463 | 30,002 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,112 | 7,927 |
| 貸倒引当金繰入額 | 9,585 | 91,557 |
| その他 | 0 | 269 |
| 営業外費用合計 | 16,699 | 99,754 |
| 経常利益 | 182,212 | 121,411 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 27 | — |
| 特別利益合計 | 27 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 625 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 1,134 | — |
| 特別損失合計 | 1,759 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 180,481 | 121,411 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 43,590 | 49,789 |
| 法人税等調整額 | △5,600 | △8,521 |
| 法人税等合計 | 37,990 | 41,268 |
| 四半期純利益 | 142,491 | 80,142 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 84 | △349 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 142,406 | 80,492 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 142,491 | 80,142 |
| 四半期包括利益 | 142,491 | 80,142 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 142,406 | 80,492 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 84 | △349 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|---------------------------------|------------------|----------------------------|-------------------|-----------|
| | IP & Mobile ソリューション・ ビジネス | ユーティリティ・ ビジネス | ドキュメント ソリューション・ ビジネス | コンサルティング・ ビジネス | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,846,197 | 62,088 | 364,817 | 672,925 | 4,946,028 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 6,205 | — | 11,847 | 1,250 | 19,303 |
| 計 | 3,852,403 | 62,088 | 376,664 | 674,175 | 4,965,332 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 146,613 | △10,887 | △8,128 | 69,174 | 196,771 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 196,771 |
| セグメント間取引消去 | 676 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 197,447 |

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|-----------------------|---------------------------------|------------------|-----------------------------|-------------------|-----------|
| | IP & Mobile ソリューション・ ビジネス | ユーティリティ・ ビジネス | ドキュメント・ ソリューション・ ビジネス | コンサルティング・ ビジネス | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,429,790 | 682,521 | 337,531 | 717,924 | 5,167,768 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 3,911 | — | 22,321 | 868 | 27,101 |
| 計 | 3,433,701 | 682,521 | 359,853 | 718,793 | 5,194,869 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 94,654 | 57,808 | △6,655 | 45,313 | 191,119 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 191,119 |
| セグメント間取引消去 | 43 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 191,163 |

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「IP & Mobileソリューション・ビジネス」「ドキュメントソリューション・ビジネス」「コンサルティング・ビジネス」の3つの報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」「ユーティリティ・ビジネス」「ドキュメントソリューション・ビジネス」「コンサルティング・ビジネス」の4つの報告セグメントに変更いたしました。

従来、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」に集計しておりました電力供給事業は、経済的特徴の相違・金額の重要性の観点から、報告セグメントを「ユーティリティ・ビジネス」にすることが望ましいと考え、変更いたしました。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。